

# エコニュース さって



第 6 7 号  
平成 28 年 12 月 22 日  
さって市民環境ネット  
TEL 48-0331

## 南公民館「ゴーヤ(緑)のカーテンづくり2016」 報告: 唐澤、坂本、高久

～地球温暖化防止活動の一環～

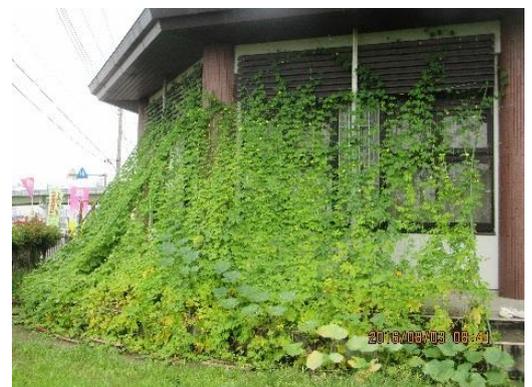
今年も5月23日(月)南公民館児童室西側に、ゴーヤによる緑のカーテンづくりを行いました。午前中に”さって市民環境ネット”(以下さちネット)のメンバー5名で、設置場所の草取りと土に腐葉土を混ぜてプランターに苗を入れ、併せて1.6m(幅)×3.6m(長さ)のネット5張をアルミ番線で壁に固定しました。ゴーヤの苗は、”さちネット”のメンバーが昨年取れた種を自宅で蒔き丁寧に発芽させた9株と、市販の「アバシゴーヤ」(横に太く、縦に短いゴーヤ)10株と、今年始めて「ちゅらゴーヤ」(接木ゴーヤ;カボチャなどの台木にゴーヤを接木したもの)という新品種を5株購入し、合計24株をプランターに植えました。当初15cm～25cmだった苗が、6月2日には83cm迄伸びて、早くも花芽が3個咲きました。1ヵ月後にはちゅらゴーヤが約190cm迄伸びて、順調に生育しました。その間、メンバーが交互に観察(日誌記入)し、摘心・誘引・添え木し、追肥しました。6月12日には始めて実が2個になっているのが確認できました。順調に大きくなった実を30日に3個初収穫できました。昨年よりも2週間早い、新品種の”ちゅらゴーヤ”でした。ゴーヤを育てるには水分補給が大切な作業ですが、今年も南公民館の受付の夜当番の方に毎日水を蒔いていただき大変助かりました。

7月中旬以降、ちゅらゴーヤ、アバシゴーヤとも実が順調に大きく育ち適宜収穫しました。つるもすでに、ネットの上(450cm超)迄伸びて、本来の緑のカーテンが出来てきました。その後も順調に収穫し、南公民館の来館者に差し上げました。8月から9月にかけて台風が関東地方にも接近してきましたが、ネットの被害はありませんでした。9月14日には収穫し始めてから累計で216個(昨年と同数)収穫することができました。葉も大分枯れてきましたので9月27日に”さちネット”のメンバー7名でネットの撤収作業をしながら最後の収穫をし、最終的には243個収穫することができました。

本来は、南公民館児童室の西日避けに設置した「ゴーヤの緑のカーテンづくり」は地球温暖化防止活動の一環としてはじめましたが、ゴーヤの実を収穫するという副産物を来館者に提供し、好評だったようです。今年も約4ヵ月の活動でしたが、館長さんをはじめ職員の方々にお世話になりました。この場をお借りして御礼を申し上げます。



力強く育つゴーヤ



日差しを遮るゴーヤの葉

## 「エコライフDAY2016（夏）」取組結果報告

報告：坂本

「エコライフDAY」の運動は平成17年に始まり、今年で12年目を迎えました。毎年、学校、市役所を中心に多くの方に参加していただき有難うございます。今年は7月3日（日）～10日（日）に実施しました。以下取組結果について報告します。

本年の参加者数は5,722人です。昨年は6,835人だったので、昨年より1,113人減少してしまいました。また、今年の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減量は4,008kgです。昨年の削減量は5,210kgだったので、昨年よりも1,202kg減少しています。

参加者数、二酸化炭素削減量共に昨年よりも減少した理由とすると、今年は市内の企業に対する呼びかけを行わなかったことから一般の参加者が約700人少なかったこと、また、高校生の参加者が約300人少なかったこと等全体として、「エコライフDAY」のPRが不足したことであると思います。これらの反省を踏まえ、来年は今年の数値を上回りたいと願っています。

エコライフDAYは、チェックシートを用いて一般家庭において二酸化炭素排出量削減を目指し、省エネ・省資源の生活を1日体験する取り組みです。地球温暖化が叫ばれている中で、二酸化炭素排出量の増加要因は、特に家庭での排出量増加が起因していると言われております。この運動を通じて日常生活において、1人ひとりが何気なく過ごしている中でも、心がけ次第で二酸化炭素の発生を抑えることができます。地球温暖化を抑止するため、私たちのできる重要な活動だと思えます。

### <エコライフDAYチェックシート取組の特徴>

身近な生活の中で取組める項目を年齢に応じ10～20項目設定し、それぞれの項目でどれだけ二酸化炭素が削減できるか、試算値を示しています。それを日常生活の中で継続することが大切です。

#### エコライフDAYチェックシートより

（ ）の数字は1日に減らせる二酸化炭素の量

- (1) 部屋を出るときは明かりを消した (36g)
- (2) お湯や水を流しっぱなしにしないで、こまめにとめた (82g)
- (3) 買い物するとき、レジ袋をもらわずマイバックを使った (56g)
- (4) 出かけるときは自動車に乗らずに、徒歩、自転車、バス、電車を利用した。(299g)

※ プナの木は1本で、1日当たり約30gの二酸化炭素を吸収するそうです。

今年の削減量4008kgは、プナの木にたとえると約133,600本と同じ働きをしたことになります。

### <エコライフDAY参加者数及び二酸化炭素削減量の推移>

	23年	24年	25年	26年	27年	28年
参加者（人）	7,725	7,140	6,499	5,932	6,835	5,722
削減量（kg）	4,834	4,417	4,468	4,021	5,210	4,008

※28年の数値から、削減量4,008kgを参加者5,722人で割ると、1日当たり1人で約700gの二酸化炭素が削減できました。これを毎日続けたら、1年で約250kgの二酸化炭素が削減できます。一人でも毎日続けると、大きな成果が出ます。みんなでやると計り知れない成果になります。

## 浮きウキフェスタ 28

### — 浮島つくり 子供 21 名を含む 87 名で 4 基作成 —

報告：久保田

10月30日（日）快晴の天気のもと、権現堂1号公園多目的運動広場にて「行幸湖浮きウキフェスタ 28」が開催されました。「水辺の再生」をコンセプトに開かれるこのイベント、今年で8年目を迎え、テントを使って出展した企業・団体は15ブース、桜高校演劇部によるちんどん、企業や県、市町のゆるキャラパレード、子猫企画ほかのバンド演奏、浮島つくり体験、カヌー・ドラゴンボート体験など、ほぼ例年と同じ定着した内容でイベントがおこなわれました。と、ここまでの書き出しは、大まかには昨年と同じ。ここからは、例年のレポートではあまり紹介できなかったものを写真中心に紹介していきます。フェスタへの来場者は、主催者発表で2300名とのことでした。



#### 写真説明：

- ① 幸手桜高校演劇部「ちんどん」。とんだりはねたり激しい運動量のパフォーマンスと会場内をまわるパレード。
- ② 行幸湖に浮かべられた浮島とサインボード。今年の浮島3基は、「サイサン環境保全基金」からの助成金により作られました。
- ③ 桜親善大使とさっちゃん。桜親善大使は来場者に花の種を配りました。
- ④ バンド演奏は「子猫カフェ」。
- ⑤ 浮島でのカヌーやドラゴンボート体験。
- ⑥ 浮島進水式。できあがった浮島は、行幸湖の堤防斜面の竹のレール上を滑って、湖面に投げ込まれます。

幸手市市制施行30周年記念事業

「第36回幸手市健康福祉まつり」に参加して

報告 福田

11月6日(日)ウエルス幸手にて健康福祉まつりが開催されました。今年は一階左奥のスペースに展示コーナーを設け、①腐葉土と野菜つくりの会②浮きウキフェスタ28③エコライフデー2016とグリーンカーテン(ゴーヤ栽培)作り④中川流域と近隣のジオラマ⑤環境学習コーナーにて、活動を写真やDVD等で展示紹介しました。

腐葉土コーナーでは、腐葉土の見本展示を行い、それを用いた野菜作りが写真で紹介され、同時に会員の募集も行われました。エコライフコーナーでは幸手市エコライフデー実行委員会の資料や南公民会でのゴーヤ栽培例を展示、開始1時間で用意したゴーヤの種(40人分)が全てなくなる程の盛況でした。

ジオラマコーナーでは宇和田公園から古川橋を経て玉子橋迄のジオラマを展示、こちらも用意したどんぐり、ムクロジの実等がすぐになくなってしまいました。

浮島では、いかだ組から行幸湖へ投入する進水式までがDVDで上映され好評でした。

環境学習コーナーでは、ハウネンエビの生態観察や森永製菓及びエフピコ工場見学会が詳しく紹介されていました。どのコーナーも午前中に来場者が集中し、午後は閑散としていました。



ジオラマで現地を確認する市民



クイズに挑戦!

しかし、午後の来場者はスタッフ及び来場者共に余裕があり、市民環境ネットの活動を十分理解して頂いた様です。

最後にクイズラリーも環境課で準備して頂いた水切りネット等、参加賞品として提供し、好評でした。来場者数は約385人で昨年(471人)より若干少ない結果でした。クイズラリー参加者は281人(昨年416人)でした。特に小学生やそのご両親、高齢者にとって人気のあるイベントでした。

クイズラリー参加者の内訳

	就学前	小学	中学	高校	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	計
男	2	10	5	3	1	8	12	4	15	13	0	4	77
女	2	16	3	0	3	8	20	7	39	18	2	10	128
不明	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	76
合計	5	31	8	3	4	16	32	11	54	31	2	84	281

【会員募集中!】環境保全活動を一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。[さって市民環境ネット] ★問い合わせ 澤村邦夫(代表) まで TEL 0480-42-3384

幸手の環境活動グループ: 幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)